

機能別課題・特定課題を解決する システム企画立案・システム導入を支援する

システム企画・ システム導入サポート コンサルティング

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：
株式会社日本能率協会コンサルティング
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://dlabo.jmac.co.jp/inquiry>
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

JMACサイトでシステム企画・システム導入サポートコンサルティング
を見る

https://www.jmac.co.jp/consulting/category/operation/system_plan.html

このような課題はありませんか？

- 全社課題を解決するためのシステム企画を立案したい
- 特定事業、特定業務の課題を解決するシステムで解決したい
- 特定機能領域でシステム導入（再構築）を行い、効率化を図りたい
- 基幹システムの周辺システムを新規導入し、効率化・課題解決を図りたい



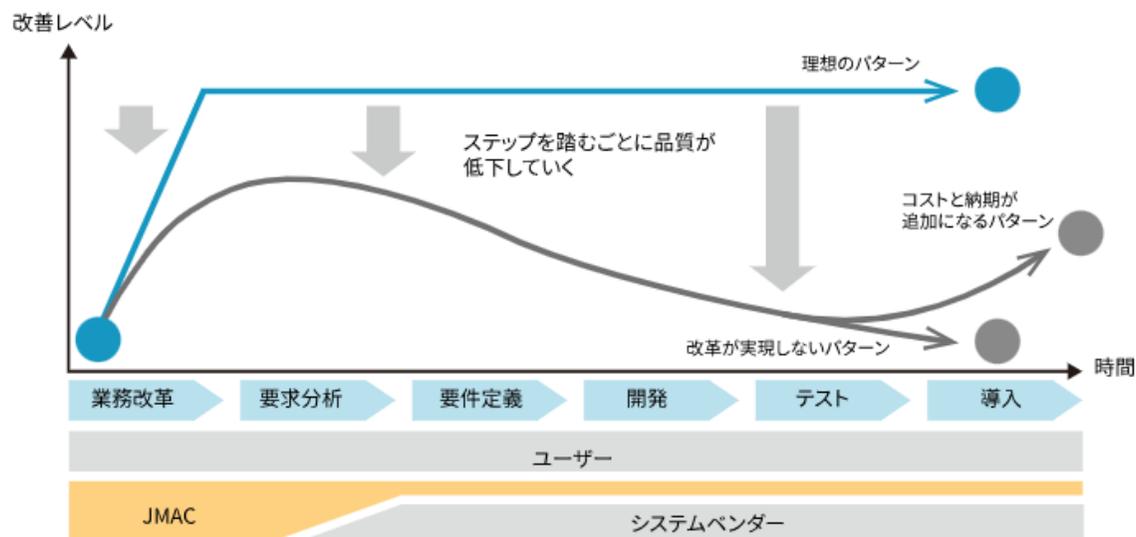
機能別課題・特定課題を解決する
システム企画立案・システム導入を支援する

JMACのコンサルティングの特徴

システム導入は、企画から開発、導入に至るまで長期にわたってプロジェクトが推進されます。その中で重要なものが、企画フェーズで目指す姿として、現状を前提とせず改革構想を検討することです。業務改革の豊富なコンサルティング経験を有するJMACは各社の事業特性を踏まえた目指す姿を描きます。

また、JMACは総合コンサルティングファームであり、会社のあらゆる機能領域のシステム化の企画、導入の支援をすることが可能です。

改革構想ができたとしても、実際の開発フェーズの中で、いつの間にか改革レベルが下がってしまうことで、改革が実現しなかったり、導入タイミングでの修正依頼などによるコスト増と納期遅れが発生したりすることも多々あります。こうしたギャップが発生しないように、JMACはユーザー企業に寄り添い、企画から導入まで一貫して支援することが可能です。

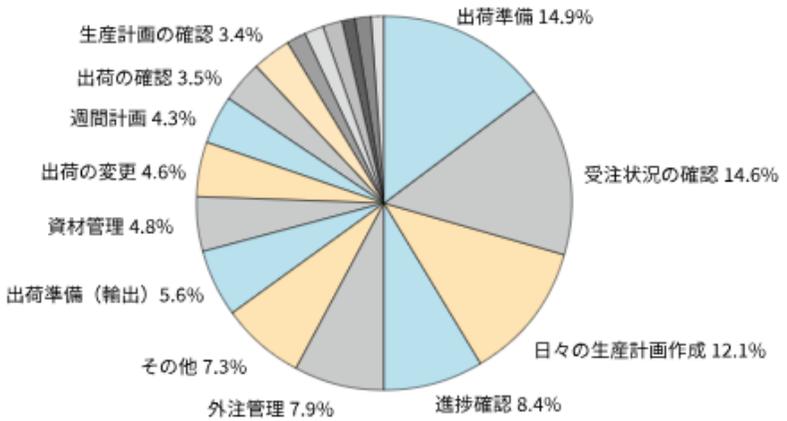


JMACがユーザー企業側に寄り添い、企画～導入まで一貫して支援することが可能

| | |
|-------------------|---|
| 1. As-Is業務把握 | <ul style="list-style-type: none">● 業務項目・業務分担・業務量の見える化● 業務フローの見える化● システム構成、機能関連の見える化● 業務改革課題・システム課題の設定 |
| 2. To-Be業務設計 | <ul style="list-style-type: none">● To-Be機能分担設計● To-Be業務プロセス設計● KPIの設定 |
| 3. RFP策定 | <ul style="list-style-type: none">● システム機能要求の整理● RFP策定● システムベンダー／パッケージ候補の選定 |
| 4. ベンダー・パッケージ選定支援 | <ul style="list-style-type: none">● ベンダー提案評価● ROI算定 |
| 5. システム導入・PMO支援 | <ul style="list-style-type: none">● 要件定義・To-Be業務設計見直し支援● PMO支援 |
| 6. 定着化支援 | <ul style="list-style-type: none">● モニタリング・運用課題解決支援 |

コンサルティングの進め方

業務量調査



改善視点

- 重複業務削減余地の抽出
- 余剰・過剰業務削減余地の抽出
- 集中化・分散化余地の抽出
- 情報リレーション余地の抽出
- 標準化余地の抽出
- システム化余地抽出
- 承認ポイント・基準見直しの抽出
- 業務遂行レベル見直し対象の抽出

改善施策一覧

| 大分類 | 中分類 | 小分類 | 全体比率 | 改善対象 | 削減率 | 寄与率 | 改善の方向性 |
|------|--------------|------------------|-------|------|-------|--------------------|------------------------------|
| 受注管理 | 受注状況の確認 | 納期回答（電話・メール） | 3.50% | ○ | 80% | 2.80% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | 電話応対 | 2.90% | ○ | 50% | 1.45% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | 新規オーダーの確認 | 1.80% | ○ | 80% | 1.44% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | 在庫確認 | 1.70% | ○ | 80% | 1.36% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | オーダー変更の確認 | 1.00% | ○ | 80% | 0.80% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | 展開リストの確認 | 0.70% | ○ | 100% | 0.70% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | 展開リストの出伝 | 0.50% | ○ | 100% | 0.50% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | | 生産依頼インプット | 0.40% | ○ | 80% | 0.32% | 仕掛に対する在庫・出荷関係の紐付（見える化） |
| | 進捗確認 | 電池関連前日迄の工程進捗確認 | 1.80% | ○ | 80% | 1.44% | 現状の工程進捗状況の見える化 |
| | | 製品予定表と現状の確認 | 1.40% | ○ | 80% | 1.12% | 現状の工程進捗状況の見える化 |
| | | 出荷予定数の確認・入力 | 1.40% | ○ | 80% | 1.12% | 現状の工程進捗状況の見える化 |
| | | DBソフトへAG時間書き込み | 1.30% | ○ | 80% | 1.04% | 複数コイルを1つの生産依頼NO単位にまとめる |
| 出荷管理 | 出荷準備 | DBソフトの消込と並べ替え、修正 | 1.20% | ○ | 80% | 0.96% | 日報データ上で「作業完了区分」を設定して、DBに吸い込む |
| | | 荷姿確認 | 1.50% | ○ | 70% | 1.05% | 荷姿（パッキング）とパレタイズ情報の電子化 |
| | 出荷の変更 | 荷姿確認 | 1.50% | ○ | 80% | 1.20% | 荷姿（パッキング）とパレタイズ情報の電子化 |
| | | 出荷量、出荷日の変更 | 2.30% | ○ | 50% | 1.15% | ケース指示書を紙から電子情報化で変更 |
| 生産計画 | 日々の生産計画作成 | 製品出荷の変更 | 1.70% | ○ | 30% | 0.51% | ケース指示書を紙から電子情報化で変更 |
| | | 資材の移動依頼（主資材倉庫入庫） | 6.70% | ○ | 50% | 3.35% | 製造部（現場）へ業務譲渡 |
| | | 他設備の進捗確認 | 0.80% | ○ | 50% | 0.40% | 前後設備の計画状況を一覧化する |
| | 生産計画の確認 | AGR倉庫の確認 | 0.30% | ○ | 50% | 0.15% | 複数コイルを1つの生産依頼NO単位にまとめる |
| | 職長と予定について打合せ | 2.20% | ○ | 80% | 1.76% | 職長との検討会を必要時に限定するなど | |

対象部門

全業種
全社システム企画、導入
事業別（A事業、B事業等）システム企画、導入
機能部門別（営業、購買、生産等）システム企画、導入

Case

| | |
|----------|---|
| 業界 | 化学 |
| 会社プロフィール | 化学品の受託製造メーカー |
| テーマ | 生産管理システム再構築 |
| 背景 | 既存システムが自社の生産計画業務と不整合な部分があり、別途表計算ソフトなどを使った業務が発生している。既存システムでは、システムDB情報の活用やランニングコストにも課題があったため、次期生産管理システムの構築を目指し、業務改革およびシステム開発のプロジェクトを推進。 |
| 取り組み内容 | <ul style="list-style-type: none">•現状業務の把握と業務改革構想•システム要求分析とベンダー／パッケージの選定•システム導入サポート |

ご相談の流れ

面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。
必要に応じて、NDAをご準備します。
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

実施

コンサルティングを実施スタートいたします。
キックオフを経て、

- 現状分析
- 関係者ミーティング
- 改善支援
- 推進報告会

を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：
株式会社日本能率協会コンサルティング
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://dlabo.jmac.co.jp/inquiry>
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307